

(成果物1 問題文や選択肢の生成)

以下すべてAIが作成したものです。

問題文1:

連帯債務及び連帯保証に関する次の記述のうち、民法の規定によれば、正しいものはどれか。

選択肢1

Aが、宅地建物取引業者であるBと売買契約を締結した場合、Aは、Bの手付金を受領した後に、手付金として2500万円を受領することができる。

選択肢2

Aが、乙県知事に登録の移転の申請とともに宅地建物取引士証の交付の申請をしたときは、新たな登録を受けていない間については、乙県知事から登録を削除されることはない。

選択肢3

Aが、宅地の所有者Dから当該宅地の売買契約を締結した場合、Aは、保全措置を講じなければならない。

問題文2:

宅地建物取引業者が行う不動産広告に関する次の記述のうち不当景品類及び不当表示防止法不動産の表示に関する公正競争規約を含むの規定によれば誤っているものはどれか。

選択肢1

路地状部分の面積が2500㎡以上の部分には原則として耐火することができる。

選択肢2

新設予定の駅は当該路線の運行主体が公表したものに限りその新設予定時期を明らかにして表示することができる。

選択肢3

日照その他物件の環境条件に影響を及ぼすおそれのある建物の建築計画がある場合その計画が他の宅地建物取引業者が行うものであっても建築基準法に基づく制限をすることができる。